

# Art Action 2010 at シャトー小金井

パフォーマンスアート「ひとつの応答」シリーズ

## 「沖縄・1944～2010 から聞こえてくること」

6月18日(金)・開場 18:30～ ・パフォーマンス 19:30～20:30 ・カフェタイム ～21:30

会場：小金井アートスポット “シャトー2F” (小金井市本町6-5-3シャトー小金井2階 武蔵小金井駅南口より5分)



Artfull-Action!  
小金井アートフル・アクション!



ペ・ポンギさんは1944年植民地だった朝鮮から渡嘉敷に日本軍「慰安婦」として送られて、日本の敗戦後も沖縄本島を放浪し、そこに居着きました。日本軍がいなくなるとすぐに米軍が基地を作りはじめました。同時に女性への性暴力事件が頻発しました。5月5日、鳩山首相は「抑止力のために海兵隊を沖縄に置く」と言いました。その抑止力、あるいは国に安全の名のもとに、どれほどの女性、子供が被害を被ってきたのでしょうか。本当に大切なことを失わないために、今一度、被害者の声を聞きたいと思います。

パフォーマンス：イトー・ターリ

入場料：一般1,500円・学生1,000円(1ドリンク付)

共催：イトー・ターリ、小金井アートフルアクション! 実行委員会

お問い合わせ：090-6717-9366 tari@gol.com



イトー・ターリ/ビデオやCG映像なども織り交ぜたマルチメディアパフォーマンスによって女性の身体や生き方を表現、現在は国内はもとより、アジア、欧州、北米において活動を展開している。作品には「表皮の記憶」1989年、「フェイス」1992年、「ディスタントスキンシップ」1995年、「自画像」1996年、「私を生きること」1998年、「恐れはどこにある」2001年、「狂った身体」2003年、「恐れはどこにある一反戦編—vol.1,2」, 「虹色の人々」2004年、『MeditatingBody』2005年、「あなたをわすれない」2006年、「RubberTit」2006年「ひとつの応答」2008年などのシリーズがある。今回の「沖縄・1944～2010から聞こえてくること」は、「ひとつの応答」シリーズの2010年版。福岡ツアー、金沢21世紀美術館、北京Open Performance Art Festival、そしてヒロシマ平和映画祭における原爆ドーム前でのパフォーマンスなど、大きく展開した2009年の活動を経て、イトー・ターリの「Art Action 2010」が始まります。URL:<http://itotari.com>

◆関連イベント 6月25日(金)19:00～21:00 カエルハウスにて(小金井市中町3-3-1 0-1 0 3)「ひとつの応答」などについて語るトークイベントがあります。